

## 平成 25 年度決算概要

学校法人熊本城北学園の平成 25 年度決算は、平成 26 年 5 月 30 日に開催された理事会および評議員会において承認されました。

ここでは、企業会計における損益計算書に相当する消費収支計算書および財政状態を表す貸借対照表をもとに、平成 25 年度決算の概要についてご報告いたします。

### 1. 消費収支計算書

#### (1) 消費収入の部

帰属収入すなわち当法人の負債とならない純粋の収入は、前年比 3,473 万円増の 22 億 6,220 万円となりました。

帰属収入から基本金組入額 5,235 万円を差し引いた消費収入は、前年比 7,951 万円増の 22 億 985 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

- ① 学生生徒等納付金…在籍学生数の増加により、前年比 5,948 万円の増収となりました。
- ② 手数料…入学検定料収入の減少により、前年比 39 万円の減収となりました。
- ③ 寄付金…特別寄付金の減少により、前年比 105 万円の減収となりました。
- ④ 補助金…国庫補助金の減少により、前年比 4,676 万円の減収となりました。
- ⑤ 資産運用収入…受取利息の増加により、前年比 108 万円の増収となりました。
- ⑥ 事業収入…補助活動収入、受託事業収入の増加等により、前年比 368 万円の増収となりました。
- ⑦ 雑収入…私立大学退職金財団の交付金増加等により、前年比 1,815 万円の増収となりました。

#### (2) 消費支出の部

消費支出は、前年比 4,048 万円増の 21 億 4,801 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

- ① 人件費…教員人件費、退職給与引当金繰入額の増加により、前年比 9,583 万円増加しました。
- ② 教育研究経費…業務委託費、減価償却費等の減少により、前年比 7,080 万円減少しました。
- ③ 管理経費…消耗品費、渉外費、広報費等の増加により、前年比 113 万円増加しました。

消費収入から消費支出を差し引いた当年度消費収入超過額は、前年比 3,904 万円増の 6,184 万円となり、前期に引き続いての収入超過となりました。前年度繰越消費収入超過額に当年度消費収入超過額を加えた翌年度繰越消費収入超過額は 6 億 7,189 万円となりました。

また、帰属収入から消費支出を差し引いた帰属収支差額は、前年比 574 万円減の 1 億 1,419 万円となりました。

帰属収支差額の帰属収入に対する割合は、前年比 0.4 ポイント低下して 5.0%となっております。

## 2. 貸借対照表

### (1) 資産の部

資産総額は、前年比 1 億 5,159 万円増の 97 億 3,285 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

- ①固定資産…減価償却引当特定預金の一時的取崩しによるその他固定資産の減少により、前年比 5 億 3,278 万円減少しました。
- ②流動資産…上記、減価償却引当特定預金の一時的取崩しに伴う現金預金の増加等により、前年比 6 億 8,437 万円増加しました。

### (2) 負債の部

負債総額は、前年比 3,740 万円増の 9 億 4,050 万円となりました。

主な増減の要因は以下のとおりです。

- ①固定負債…退職給与引当金、長期未払金の増加により、前年比 3,015 万円増加しました。
- ②流動負債…未払金、預り金の増加により、前年比 725 万円増加しました。

### (3) 基本金の部

基本金総額は、第 1 号基本金の増加により、前年比 5,235 万円増の 81 億 2,046 万円となりました。

### (4) 消費収支差額の部

消費収支差額は、前年度繰越消費収入超過額に当年度消費収入超過額を加えて、前年比 6,184 万円増の 6 億 7,189 万円となりました。

基本金に消費収支差額を加えた正味財産は、前年比 1 億 1,419 万円増の 87 億 9,235 万円となりました。最終的に、負債の部、基本金の部、消費収支差額の部合計は、97 億 3,285 万円となりました。これは、前年と比較して 1 億 5,159 万円増加しております。

正味財産の総資産に占める割合は、前年比 0.3 ポイント低下して 90.3%となりました。

なお、減価償却の累計額は、前年比 2 億 96 万円増の 35 億 4,920 万円となっております。